

施工の現場から 産業用太陽光発電O&M

代表取締役
奥山 恭之

エナジービジョン

「太陽光発電事業の評価ガイド」 どのように活用する？

▼JPEA「評価ガイド」を
どのように解釈するか

という点だ。
「太陽光発電所は設置
してしまえば後は何もし
なくて良い」と発電事業

だ。
▼低圧・高額買取案件の
「現実」

（一社）太陽光発電協
会（JPEA）が6月に
「太陽光発電事業の評価
ガイド」を公表した。

太陽光発電が主力電源
となるには、低圧発電所
における事業環境の脆弱
性を看過できない、それ
を是正するための第一歩
という位置付けとなる。

低圧発電所の問題と
は、
メンテナンスを適切に
実施していない
●継続稼働のための再投
資がなされない懸念が強
い

「太陽光発電事業の評価
ガイド」を公表した。
「太陽光発電事業の評価
ガイド」を公表した。
「太陽光発電事業の評価
ガイド」を公表した。

「太陽光発電事業の評価
ガイド」を公表した。
「太陽光発電事業の評価
ガイド」を公表した。
「太陽光発電事業の評価
ガイド」を公表した。

第33回 — まずは施工店と共に現状チェックを

IV 評価ガイドの内容

3. 評価項目の体系

1. 事業のための確認
1.1 発電・送電にかかる確認
1.2 事業用地の活用にかかる確認
1.3 事業に付帯する土地の活用にかかる確認
2. 事業用地の活用にかかる法令等手続き
2.1 事業計画がイライン記載の法令手続き
2.2 事業計画がイライン非記載の法令手続き
2.3 法令外手続き
3. 地上設置型太陽光発電設備の土木・構造に関する評価
3.1 設計図書等の書類の確認
3.2 敷地・地盤・基礎・法面等の外観調査
3.3 フレートの配置等の確認
3.4 基礎の確認
3.5 架台・モジュールの確認
3.6 工作物等の確認
4. 屋敷物上設置型太陽光発電設備の構造に関する評価
4.1 設計図書等の書類の確認
4.2 フレートの配置等の確認
4.3 基礎の確認
4.4 架台・モジュールの確認
4.5 遮覆物の屋根（屋上）確認

5. 太陽光発電システム関係書類
5.1 電力関係書類
5.2 施工図書関係書類
5.3 維持管理関係書類
6. 発電システム設計
6.1 レイアウト設計
6.2 電気設計
7. 設備機器
7.1 太陽電池モジュール及びアレイ
7.2 変圧器
7.3 電柱
7.4 パワーコンディショナー
7.5 変電設備
7.6 監視装置及び計測装置等
7.7 配線及び配線保護
7.8 その他設備

参考文献1: 評価手順(例)
参考文献2: チェックリストとその活用
参考文献3: 経費見積書形式(例)

JPEAが公表した評価ガイドの内容

例えば、書類の問題だ。本来、発電事業者が保有していなければならない書類は多々あるが、きちんと管理できているところは少ない。次にも施工店に見ながら、今やっているO&Mの内容が適正か、過剰な点

無傷でクリアできる太陽光発電所はごく一握りしかないだろう。特に初期に作られた売電単価40円や36円の発電所は、さまざまな問題を抱えている場合がほとんどだ（発電事業者が問題に気付いていないことが、より怖いところだが）。例えば、書類が揃っていないことが大前提になる。発電事業者としては、この評価ガイドを施工店と一緒に見ながら、どの書類が足りないのか確認することから始めるのが良いだろう。

「2・事業用地の利用にかかわる法令手続き」なことは証拠となる書類があるか、ないかが問われる。他の項目でも、まずドカードを出される危険性が高まっていることを認識しておきたい。

http://www.jppea.gr.jp/topics/hyouka_gui de.html